

2025年総合大会 公募シンポジウム・ポスターセッション一覧

公募シンポジウムセッション

B：通信ソサイエティ

BS-1. センシングと通信の融合に向けて

近年の無線アプリケーションとして注目されているV2X、UAV、ロボット等では、様々な環境におけるセンシングと通信の両立が必要である。近年の無線通信では広帯域化や様々な周波数の利用が進んでいる。周辺環境の変化や人体など様々な要因により影響を受けるが、これを逆にこれをセンシングに利用する試みも盛んに行われている。このような通信とセンシングの融合は、ISAC (Integrated Sensing and Communication) と呼ばれており、システムからアンテナまで多岐に渡って検討されており、6Gに向けて注目される技術の一つである。そこで、本セッションでは、通信とセンシングの融合をキーワードとして、分野横断的に広く講演を公募し、新たな手法や技術課題について議論する。

C：エレクトロニクスソサイエティ

CS-1. 学生が興味をひく電磁気学教育の実情・課題・将来および光・電磁波工学への教育展開

電磁気学は工学的かつ理学の基盤技術となる。しかしその深い理解は学生にとって、必要となる線形代数やベクトル解析などの知識が必要不可欠となるため難解である。更に追い打ちをかけるようにコロナウィルス感染拡大に伴いオンライン化となりより一層の電磁気学教育の難しさがあると思われる。大学や高専の教育現場では、学生の理解を高めるため自由な発想と教員の豊かな知識をベースにさまざまな工夫を凝らしている。本シンポジウムでは、シニアから若手まで教育現場で工夫をしている教員や、教育に期待する企業人にとって、学生がわかりやすく理解できるような教育展開法のアイデアを含めて発表して頂き、学生を含む聴講者とともにコロナ後の電磁気学教育の実情・課題・将来を討論し、光・電磁波工学への教育展開へと続く新たな取り組みについて情報交換および議論を行う。

CS-2. エレクトロニクス分野における商用シミュレータの最新動向と活用事例

講演者の方々にエレクトロニクス分野における商用シミュレータの最新動向と活用事例について講演いただきます。

D：情報・システムソサイエティ

DS-1. COMP-AFSA学生シンポジウム

計算理論分野で優れた研究を行うためには計算理論のさまざまなテーマに対する幅広い視野を持つことが非常に重要である。世界ではそのような広い視野を持った研究者が学会のリーダーとして研究動向を動かしている。したがって、さまざまなテーマで理論研究を行う学生同士の情報交換を行う事がハイレベルな研究者の早期育成に非常に大きな効果をもたらす。そこで、学生に計算理論分野の研究交流の場を提供し、若手研究者の育成を図ることを目的として、学生のみ講演(共著者は一般も可)からなる公募シンポジウムを開催する。本シンポジウムは2006年より継続しており、毎年、計算理論に関する最新の研究成果についての発表が多数あり、大変成功を収めている。

本大会では学術変革領域(A)「社会変革の源泉となる革新的アルゴリズム基盤の創出と体系化」と共催で実施する。

ポスターセッション

B：通信ソサイエティ

BPO-1. ネットワーク技術特別ポスターセッション

本セッションはネットワーク技術に関する研究を対象とし、ポスターセッションの形式を取ることで、講演者と聴講者との間でフェース・トゥ・フェースの活発な議論（現地開催の場合）を行うこと目的とする。講演者は現在進行中の研究について議論を行い、ここで得られたアイデアを自身の研究にフィードバックすることが期待できる。

また、聴講者は都合の良い時間帯に自由にセッションに参加することができる。萌芽的な研究に関する議論に主眼を置くため、予稿はシンポジウム講演の位置づけではあるが1ページ程度でもよい。

BPO-2. インターネットアーキテクチャ若手ポスターセッション

インターネットアーキテクチャ研究専門委員会では、2016年総合大会からは、各年度の総合大会において若手ポスターセッションを定例開催しています。インターネットアーキテクチャ研究専門委員会では、若手ポスターセッションを、2016年から毎年総合大会において定例開催しています。学生に限らず若手研究者の方で、密な議論を望まれる方はポスターセッションにご投稿ください。

予稿の分量は公募シンポジウムに準じて2ページ以内とします。発表者は発表時にポスターを持参してください。使用言語は予稿・ポスターともに日本語または英語に限定します。また出席した専門委員の採点に基づき優秀ポスター賞を選定いたします。